

平成 19 年 6 月 21 日

中部飼料株式会社

平成 19 年 7～9 月期の畜産配合飼料販売価格のお知らせ

平成 19 年 7～9 月期の畜産配合飼料販売価格については、以下の飼料原料・外国為替情勢などを踏まえ、平成 19 年 4～6 月期に対し、全畜種平均トン当たり約 1,250 円値上げすることを決定いたしました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

飼料穀物

とうもろこしのシカゴ定期は作付面積の増加により 3 月末に ϕ 400 台から ϕ 370 台へ下落しましたがエタノール需要による在庫量の減少予測から相場は底固く 5 月中旬以降 ϕ 370～390 台の高値で推移しております。7 - 9 月期とうもろこし価格は 4 - 6 月期比シカゴ定期はやや弱含みに推移すると見ております。

蛋白原料

大豆油粕は米国大豆の作付面積減少とパーム油の高騰から値上りし 6 月初旬より \$220 台と高値で推移しております。7 - 9 月期の大豆粕価格は 4 - 6 月期比大幅な値上げが見込まれます。魚粉価格はペルーの漁獲枠削減と中国の旺盛な需要から昨年来、高値が続いております。7 - 9 月期価格は 4 - 6 月期比横ばいと見ております。

海上運賃

米国ガルフ - 日本のパナマックス型海上運賃は 中国の前年比 23%増と安定した鉄鉱石輸入 豪州の石炭積出港での滞船 南米の穀物輸出需要の堅調な荷動きから \$ 70 台後半で推移しております。7 - 9 月期は 4 - 6 月期比 \$ 10 ドル以上の上昇と見ております。

外国為替

7 - 9 月期の外国為替は 4 - 6 月期比対ドル、対ユーロでの金利差から円安傾向に推移し 121 円と予想しております。

以 上

* お問合せ先

中部飼料株式会社 経営企画部（田中） T E L : 0562-33-2103